



自然薯植え付け体験

大きくなりますように

6月3日 下高倉西地内

高倉小学校4年生20人が、地域で特産品として栽培している自然薯の植え付けを体験しました。地域の人たちから植え方を教わった後、子どもたちは楽しそうに、土の入ったパイプ運びや種芋を植える作業などに一生懸命取り組みました。

植えられた自然薯は、12月には収穫して、給食として食べる予定。「自然薯が早く大きくなりますように」と口々に話しながら、今から成長がとも楽しみな様子でした。



第39回河川一斉清掃

身近な環境を大切に

6月5日 吉井川・宮川・蘭田川

6月の環境月間に合わせて実施する河川一斉清掃。吉井川本流と支流の宮川、蘭田川の約8.5キロ区間で行われました。

地域を流れる川をきれいにしようと、45町内会や学生、企業のボランティアなど、約3,000人がゴミ拾いや草刈りなどに参加しました。

回収されたゴミは約18トン。すっかりきれいになった河川を見て、参加者は改めて、身近なところから環境を守る大切さを感じているようでした。

第13回 ふれあいスポーツ大会

みんなで楽しくふれあいの輪を

6月12日 津山総合体育館

津山地域の障害者とその保護者、ボランティア約350人が参加して、交流と親睦を深めたふれあいスポーツ大会。4つのチームに分かれて、玉入れや風船バレー、パン食い競争などの競技を楽しみました。

参加したボランティアの人は「和やかに多くの人と交流でき、各団体の横のつながりも作れるいい機会。今回は参加者も多く、楽しめました」とさわやかな笑顔で答えてくれました。



美作滝尾発 田んぼアート in 堀坂

今年も寅さんが浮かびあがる

6月5日 堀坂地内

米粉の需要拡大、普及促進をPRする「田んぼアート」に、地域の子ども会や美作大学の学生など約80人が参加しました。

最初は「きゃー、ヌルヌルする〜」「足が抜けん！」など、悪戦苦闘しているようでしたが、苗を植えていくうちに慣れてきて、約1時間で植え終わりました。

苗が成長すると、振り向きざまに「あばよ」と声をかける「フーテンの寅さん」が今年も浮かび上がってきます。

第53回水道週間イベント

水は暮らしに不可欠なもの

6月5日 イオン津山

「蛇口からあふれるばくらの夢・未来」をスローガンとした水道週間(6月1日~7日)に合わせて、水道局がイベントを開催し、アンケートや相談コーナーには、たくさんの方が立ち寄り「水道が使えなくなったら何に困るか」などのアンケートに答えていました。

会場の一角には、東日本大震災の被災地(仙台市)での給水支援活動の写真パネルの展示もありました。

現地で活動した職員は「大変な活動の中、被災者から感謝の言葉をもらい、頑張れました」と語り、給水車に長い列を作る被災者の写真を見た来場者は「ライフラインである水の大切さを改めて感じました」と話してくれました。



東日本大震災復興支援チャリティーマーケット

届け! 津山からのエール

5月29日 美作大学

美作大学ボランティアセンターと津山市社会福祉協議会、つやまNPO支援センターが共催したチャリティーマーケット。家庭の不用品を持ち寄った約40テナントが出店。売上金の一部は義援金として被災地へ送られます。

善意で集まった絵本約700冊や被災者応援横断幕「ごんごメッセージ」には、来場者が被災地への心温まるメッセージをつづっていました。

メッセージを書いた片山大輔さん(久米南町)は「逆境に負けず、みんなで元気を出して復興して欲しい」と話してくれました。



第25回津山さつきまつり

丹精込めた枝ぶりに感動

5月27~29日 リージョンセンター

毎年の恒例となっている市花・サツキの盆栽展覧会。市内外の愛好家が何十年もかけて、丹精込めたサツキの枝ぶりや豪華な花を觀賞するために、今年も多くの方が訪れました。

展示された約80鉢の作品はどれもすばらしい出来栄で、訪れた人は色とりどりの作品一つひとつに引き込まれているようでした。

盆栽の育て方を出展者に尋ねる熱心な来場者もいて、苗の即売会では、「同じように育ててみたい」と、苗を買い求める人もいました。